

令和6年度 第1回春日井市健康施策等推進協議会議事録

- 1 開催日時 令和6年10月8日(火) 午後2時から午後3時20分まで
- 2 開催場所 総合保健医療センター4階 多目的ホール
- 3 出席者
 - 【会長】 中部大学教授 北浦靖之
 - 【副会長】 春日井市医師会副会長 高木健太郎
 - 【委員】 春日井市歯科医師会副会長 中田幸成
春日井市薬剤師会副会長 塚本知男
春日井保健所健康支援課主査 丸谷祐子
春日井市食生活改善協議会会長 飯塚富恵
春日井市小中学校長会春日井市立高森台小学校校長 三浦淳一郎
春日井市私立幼稚園協議会牛山幼稚園園長 長谷川保仁
公募委員 石川由美子
春日井市健康マイスターボランティアの会会長 伊藤邦夫
春日井青年会議所副理事長 高柳太志
春日井市手をつなぐ育成会副会長 関芳子
春日井市老人クラブ連合会副会長兼女性部会長 福井廣子
春日井市健康体操連盟 吉本直美
 - 【事務局】 健康福祉部長 神戸洋史
健康増進課長 兒島康万
同課長補佐 村上貴幸
同課長補佐 川口良子
同課主査 塚本佳枝
同課主査 犬飼淳司
同課主査 梶田裕倫子
同課主任 久保みのり
同課主事 小林千花
 - 【傍聴者】 なし

4 議題

- (1) 会長の選出について
- (2) 心と体のかすがい健康計画 2035 の推進状況について
- (3) 令和6年度の主な事業について
- (4) その他

5 会議資料

- 資料1 春日井市健康施策等推進協議会規則
- 資料2 春日井市健康施策等推進協議会委員名簿
- 資料3 「心と体のかすがい健康計画 2035」の推進状況の概要について
- 資料4 「心と体のかすがい健康計画 2035」施策実施状況一覧
- 資料5 デジタル食事改善プログラムについて
- 資料6 「社会保障費の抑制をめざす」共同研究プロジェクトについて
- 資料7 春日井市が取り組む肥満症対策事業について

6 議事内容

議事に先立ち、会議公開の説明、新委員の紹介を行った。

議事録の署名は、議長及び議長が指名する委員（伊藤委員）となった。

議題(1) 会長の選出について

【高木副会長】

はじめに、議題(1)会長の選任について、本協議会規則第4条第1項の規定により、委員の互選で会長を定めたいと思います。

私からの推薦ですが、北浦委員にお願いしてはいかがでしょうか。

(全員異議なし)

【高木副会長】

会長は北浦委員にお願いしたいと思います。

【北浦会長】

ここからは、私が議事を進行いたします。

議題(2) 心と体のかすがい健康計画 2035 の推進状況について

【北浦会長】

それでは、議題(2)心と体のかすがい健康計画 2035 の推進状況について、事務局から説明をお願いします。

【事務局 梶田主査】

資料3、4に基づき説明

【事務局 村上補佐】

資料3に基づき、心と体のかすがい健康計画 2035 の内容について補足説明

【北浦会長】

議題(2)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問等がございますか。

御意見等ないようですので、議題(2)についてはこれで終わります。

議題(3) 令和6年度の主な事業について

【北浦会長】

次に、議題(3)令和6年度の主な事業について、事務局から説明をお願いします。

【事務局 村上補佐】

資料5に基づき説明

【事務局 川口補佐】

資料6、7に基づき説明

【北浦会長】

議題(3)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問等がございますか。

【石川委員】

資料7について、ノボノルディスクファーマ社と協定を締結している自治体の件数と締結した上での実績を教えてください。

【事務局 児島課長】

肥満症対策に関する自治体との2者協定の締結は本市が初めてですが、自治体・大学との3者協定の締結については近々予定していると聞いております。

【石川委員】

ノボノルディスクファーマ社の工場がある郡山市(2018年)と旭市(2021年)の二つの自治体は既に締結していることはSNSの情報で把握できましたが、その

他に締結している自治体があれば教えていただきたいと思い質問しました。また、すでに締結している自治体の実績を把握したうえで締結を決断されたと考えましたが、協定締結に至った経緯は何ですか。

【事務局 児島課長】

現在、世界的にも肥満症が健康リスクの一つとされていることから、地域医療支援病院であり、肥満症治療外来がある春日井市民病院を中心に、肥満症に関する健康づくりの取組みを推進していくことで、市民の健康増進に寄与するのではないかと思います、協定締結に至りました。

【石川委員】

資料7の「見込まれる事業の成果」に「新治療薬の適正使用」という記載がありますが、ノボノルディスクファーマ社製の薬「ウゴービ」の使用を進めていくのですか。

【事務局 児島課長】

市として薬の使用を大きく進めていくのではなく、肥満症が慢性的な生活習慣病につながる一つの要因であることや、治療が必要な病気であることを周知啓発していきたいと考えています。

【塚本委員】

健康に関心のある人に対する事業だけではなく、無関心層に向けた取組みも必要だと思います。薬局に来られる人を考えると、不健康な人は、若い頃に健康に無関心だったという人が多いように感じます。

例えば、3交代勤務の工場労働者や運送業の人で、若くして非常に重度の糖尿病になっている人もいるため、そういった人を発掘できるよう、市内企業に対する健診の受診勧奨などの事業を考えていただきたいです。

【事務局 村上補佐】

ご指摘のとおり、現在実施している多くの事業は、募集型のため、参加者のほとんどが健康に関心のある人だと感じています。

一方で、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施という事業では、健康への関心の有無に関わらず、高齢者を対象に、保健師などの医療専門職が訪問し、生活習慣病の重症化予防やフレイル予防などのために支援を行っています。

また、企業で働く若い世代に対する受診勧奨等も現在検討しています。健康づくり出前講座などの事業を通じて、企業と連携しながら、生活習慣病の予防に向けた取組みを進めていきます。

【塚本委員】

本協議会の委員として商工会議所の方にご参加いただいておりますが、いかがでしょうか。

【事務局 村上補佐】

次回の委員改選の際に、検討したいと思います。

【北浦会長】

ありがとうございました。

他に御意見はないようですので、議題(3)についてはこれで終わります。

議題(4) その他

【北浦会長】

議題(4)その他について、何か御意見等はございますか。

【石川委員】

資料4の29頁、施策8の事業①-10、①-11の実績に「情報モラルについての授業を実施した」と記載がありますが、令和4年に侮辱罪の法定刑が引き上げられたことについて、授業内容に追加されているのですか。

【事務局 村上補佐】

現状、詳細について把握できていませんので、所管課に確認の上、後日回答いたします。

【石川委員】

資料4の31頁、施策9の事業②-8、子ども・若者総合相談の特記事項欄に、「件数が伸び悩んでいるため、体制の在り方を検討する必要がある」と記載がありますので、検討された事項について教えてください。

【事務局 村上補佐】

こちらについても、詳細を把握できていませんので、所管課に確認の上、後日回答いたします。

【塚本委員】

石川委員より御質問のあった情報モラルの授業についてですが、学校での薬物乱用防止教室では、刑事罰等に関する詳細な説明はしていませんが、海外における薬物使用又は所持に対する厳重な処罰については伝えていきます。

昨今社会問題となっているオーバードーズについても、各学校薬剤師が説明を行っています。

【関委員】

手をつなぐ育成会という、知的障がいの子を持つ保護者の会の代表です。

障がいがあると、がん検診の受診券をいただいても、受診することができません。受診可能な検査として、血液検査や尿検査がありますが、将来的にこの検査でがんの発見ができるようになるのか、またその見込みがあるのか知りたいです。

また、より簡単に不安がなく受けられる検査について、情報があれば教えていただきたいと思います。

【北浦会長】

ありがとうございます。

最後に、事務局から何かございますか。

【事務局 村上補佐】

今後のスケジュールについて説明

【北浦会長】

それでは、これで本日の議題は全て終了といたします。御協力ありがとうございました。

上記のとおり、令和6年度 第1回春日井市健康施策等推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及びあらかじめ指定する委員1名が署名する。

令和 6年 11月 21日

会長 北浦 靖之

署名人 伊藤 邦夫